

(別紙5)

補助事業番号 26-1-124
補助事業名 平成26年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人「小さな親切」運動本部

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

東日本大震災の被災地およびそれ以外の地域の子どもたちの、健全な心の育成を助けるため、被災地に対しては、ワークショップなどを行い、豊かな心づくりに貢献するほか、今後求められる支援の形を探る。

また被災地以外の小学校では、被災地に取材した紙芝居を使った授業を行い、他者を思いやる心、痛みを分かち合う心を育てる。

(2) 実施内容

①被災地における工作教室

福島県内の小学校2校で工作教室を開催。講師は板絵画家、絵本作家の有賀忍氏。毛糸で作る一筆書きの絵を使ったクイズ絵本作りを行い、限られた時間の中で製本までを完成させた。世界に一冊だけの絵本とあって、子どもたちは皆熱心に制作に取り組んだ。

※工作教室については、当団体[Facebook](#)で掲載を行った。



世界に一冊だけの絵本が完成！



時間を忘れ絵本作りを行いました

②紙芝居を活用した道徳授業

北海道、秋田、東京、山口、香川、宮崎の11小学校で、オリジナル紙芝居「つなみのひ」を活用した道徳授業を実施。被災地を思いやるとともに、災害に直面した際に助け合える心の育成に重点をおいた。

※紙芝居を活用した授業については、当団体[Facebook](#)で掲載を行った。

(別紙5)



思わず立ち上がる児童もいました



助け合いの大切さを伝えました

③ホームページによる情報発信

ページデザインを一新。被災地情報のほか、教員向け講習会の様子も掲載した。また、保護者も含めた大人にも当事業の有効性を伝えるため、大人向けのコンテンツも追加した。



デザインを一新したホームページ



大人向けに一筆書きの良さを紹介

2 予想される事業実施効果

被災地域を対象にした慰問については、子どもたちの精神面の健康や心の育成に少しでも貢献できたのではないかと思われる。実際に25年度に慰問を実施した学校から、26年度も訪問してもらえないか、といった問い合わせもきている。ただこれを継続して同じ地域に行くか、別の地域に広げるかについては、検討が必要と思われる。

また、被災地以外を対象にした紙芝居活用授業やホームページによる情報発信については、小学校等から防災面はもちろん、日常生活における思いやり、責任などについて考える良い機会になったとの感想を多数いただいております。今後も継続して行うことで、さらに多くの子どもたちに、学習の機会を届けることができると考えている。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人「小さな親切」運動本部
(チイサナシンセツウندوقホンプ)

住 所： 〒101-0061
東京都千代田区三崎町2-20-4

代 表 者： 代表理事 鈴木恒夫 (スズキツネオ)

担 当 部 署： 事業推進 (ジギョウスイシン)

担 当 者 名： 五味佑理子 (ゴミュリコ)

電 話 番 号： 03-3263-2866

F A X： 03-3263-3838

E - m a i l： skm1963@kindness.jp

U R L： <http://www.kindness.jp/>